

いわた羅針盤

ら しん ばん



特集

学生の目に映る磐田

※新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインにより取材を行いました。

CONTENTS

- P2 特集 学生の目に映る磐田
- P4 磐田市議会災害等対策会議
- P5 6月定例会議案審議
- P6 一般質問(17人)
- P15 トピックス
- P16 審議結果 ほか

特集 学生の目に映る磐田

若者における選挙の低投票率など、市政への関心の低さが課題となる中で、これからのまちづくりを担う若者の目に現在の磐田がどのように映っているのかを探るため、静岡産業大学、静岡県立農林環境専門職大学及び同大学短期大学の学生6名にお話を伺いました。

取材日：令和3年7月16日静岡産業大学
令和3年7月19日静岡県立農林環境専門職大学・同大学短期大学部

(聞き手：市議会広報広聴委員会)

えてもらう機会があることです。最近できた御厨駅やジュビロードを活性化してほしいです。

——市が活性化するためのアイデアを教えてください。

浅井 大企業や人が注目するような企業を誘致したり、子どもから大人まで、多くの人が遊べる施設を作ったりすれば、人が集まると思います。

大塚 写真映えスポット目当てでカフェ巡りをする人がいるので、若者が興味を持つことに市全体で取り組んだら活性化につながると思います。

大石 コロナ禍で都会の人が移住している中で、磐田ののどかなところを発信していくといいと思います。また、成人式のフォトコンテストのように、SNSへ投稿する側も見ると楽しめる活動を広げていけば良いと思います。
澤田 SNSでの投稿に#(ハッシュタグ)をつけるなど、若者が検索しやすいように発信方法を工夫していけばいいと思います。

塚越 子育て世代が住みやすい環境がある程度揃っているので、子どもが遊べる場所をもう少し増やしてはと思います。また、磐田には近くに自然がたくさんあるので、もっとアピールできたらいいと思います。

静岡県立農林環境専門職大学・同大学短期大学部



生産環境経営学部1年 市内出身
伊藤 朱駿さん



生産環境経営学部1年 市外出身
塚越 ひなたさん

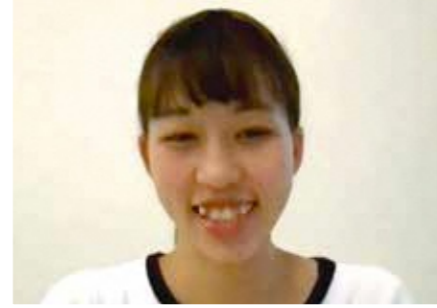


短期大学部1年 市外出身
澤田 莉音さん

静岡産業大学



経営学部3年 市内出身
大石 康生さん



経営学部3年 市外出身
大塚 二千夏さん



スポーツ科学部1年 市外出身
浅井 絵里香さん

——大学で学んでいること、将来の夢を教えてください。

大石 簿記1級や税理士の資格取得を目指すゼミで学んでいます。簿記の知識を活かせる企業に入りたいです。

大塚 教員免許を取得するため、スポーツや教職について学んでいます。子どもたちにスポーツの楽しさを教えていきたいです。

浅井 体育の教員になるため、教職を学んでいます。中学校、高校とサッカー部に所属していて、苦しいときに先生に助けられたので、自分もそういう先生になりたいです。

伊藤 県内の農林事情や経営管理を学んでいます。磐田産の林業の資源を効率的・生産的に活用していきたいです。また、里山の利用により、人と動物の生活区域を分け、人と自然が共生し、互いに支え合えるようにしていきたいです。

塚越 林業を目的に入学しましたが、最近は経営学が楽しいです。農業と経営学を融合した企業に興味があります。また、生活の基盤である食べ物には絶対に必要なものなので、経営がうまくいかない農家の手助けをしたいです。

澤田 農業の生産技術や理論について学んでいます。野菜を栽培する農業の仕事に就きたいです。磐田の特産物で

ある海老芋やチンゲンサイのおいしさを広げていきたいです。

——磐田のよさを、この機会にと充実してほしいところは何ですか。

塚越 下校時の小学生があいさつしてくれることや横断歩道に歩行者がいると必ず車が止まってくれるなど、人が温かく治安が良いです。交通の悪さには悩んでいます。

澤田 全体的にのんびりできる環境だと思います。駅前周辺に学生が入れるカフェがあったらいいと思います。

伊藤 気候が穏やかで良いところですが、娯楽施設が少なく、遊ぶ場所がワンパターン化していて困っています。

浅井 清掃や草取りなどのボランティア活動をしている人がいることです。予測できない最近の雨などが心配なので、水害に強いまちになればみんなが安心して住めると思います。

大塚 高齢者のグラウンドゴルフやラジオ体操による地域の交流など、健康意識が高いまちだと思います。学校周辺の街灯が少なく、授業で帰りが遅くなったときに暗いので、街灯を設置してほしいです。

大石 スポーツがしやすい環境や憧れのジュビロ磐田の選手にサッカーを教

伊藤 磐田市の魅力、他市との違いなど、良い印象を与えることができれば定住や移住につながると思います。

——若者の投票率を上げるためには何が必要ですか。

澤田 議員の方針を具体的に情報発信する必要が、あると思います。

伊藤 誰にでもわかる言葉で伝えないと、議員の主張、やりたいことが若者に理解されないと思います。

塚越 議員が若者の言葉を理解し、SNSを活用していかないと、若者の投票率は上がらないと思います。

大石 小学校の委員長を決める時に選挙をするなど、子どもの頃から選挙について教えることが大事だと思います。
大塚 期日前投票の方法をもっとPRすればいいのではないかと思います。

浅井 地元に戻れない人もいるので、インターネット投票ができればいいと思います。

——市議会では「議会の見える化」に取り組んでいます。皆さんに関心を持ってもらうためにはどうすればよいと思いますか。

大塚 修学旅行で国会議事堂に行くように、市議会へ行く機会を作ってはと

思います。
大石 傍聴の経験がないので、若者も行きやすい環境にしてほしいです。
浅井 私も議会のことは詳しく分からないので、小さな子も見学できればと思います。
伊藤 教育の場で、議会でどんなことをしているか、実際の声を聴かせてあげることが大事だと思います。
澤田 教育現場に向いて講演をするのがいいのではないかと思います。
塚越 議会や議員から発信されるSNSの内容は堅く近寄りがたいので、インフルエンサーに頼むことも手だと思います。

——将来の夢に向かって頑張る学生の皆さんが、「磐田」をよりよいまちにしようとして真剣に考え、アイデアを出してくれたことに感動しました。今回の取材により、学生の皆さんから多くのヒントをいただきましたので、若者の生の声が反映できるよう、磐田の活性化や議会の見える化などに努めてまいります。
ご協力ありがとうございました。

※インフルエンサー…主にSNSでの情報発信によって世間に対して大きな影響を与える人物のこと。



新型コロナウイルス感染症に対応するため

磐田市議会災害等対策会議

を設置しました

一般会計補正予算(第4号)などを審議

6月定例会では、市長提出の令和3年度一般会計補正予算など一般議案13件、人事議案3件を審議しました。なお、すべての議案の審議結果は、最終ページに掲載しています。



- 参議院議員補欠選挙の執行に要する経費の増額
- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のさらなる強化を図るため、施設等におけるPCR検査の実施期間の延長と対象の拡充に要する経費の増額
- 中小企業の新たな事業展開を支援する移動販売等導入事業費補助金の増額

この補正予算は、歳入歳出予算の追加であり、補正予算第3号の補正後の額に、歳入歳出それぞれ2億5318万1千円を追加し、総額を687億3114万6千円とするものです。

議案
第65号

3年度一般会計補正予算(第4号)

全会一致で
可決

補正予算の主な内容

本会議での主な質疑

- 問** 新型コロナウイルス感染症検査委託料の期間延長分・対象者拡充分の内訳、委託先を伺う。
- 答** 対象施設で陽性者が出た場合、検査対象者を施設の従事者だけではなく、利用者等まで拡充する。検査件数1500件を見込み、委託先は市立総合病院を予定している。
- 問** 新型コロナウイルス感染症検査事業の対象拡充の背景や期待する効果を伺う。
- 答** 対象となる福祉・医療・教育施設は、休止することで市民に多大な影響をもたらすため、施設の感染拡大を防止し、安定的な運営を支援することで、市民生活の安定につながるものと考えている。
- 問** 移動販売等導入事業費補助金の増額に至った経緯を伺う。
- 答** 4月の申請受付開始より約40件の問い合わせがあり、そのうち4件、377万4千円の補助金交付を決定している。さらに5件程度の申請に向けた相談があり、予算計上した。
- 問** 移動販売等導入事業費補助金の評価を伺う。
- 答** 移動販売専用車両を取得し、併せて必要な改修と備品購入を行った。新たなビジネスモデルを展開しようとする事業者の支援に一定の効果があると思っている。
- 問** 期日前投票所の設置にかかる予算と人員について伺う。
- 答** 費用は、立会人への報酬、派遣職員委託費用、職員の時間外勤務手当である。人員は、立会人2名と管理者が1名、職務代理者を含む事務従事者、民間の派遣会社の職員等で運営しており、8名から10名程度で務めている。



市議会では自然災害や感染症等、市域内に大規模な被害などを及ぼす事案が発生又は発生する恐れが生じた際に、市に協力し、連携した対応を行うため、磐田市議会災害等対策会議を設置することになっています。

市議会では、新型コロナウイルス感染症に対応するため、5月24日と6月9日の2日間、磐田市議会災害等対策会議を開催し、新型コロナウイルス感染症の現状について市から説明を受けた後、集中して質疑を行いました。

主な質疑の内容をお知らせします。

主な質疑

- 問** 感染状況・濃厚接触による感染経路の詳細について伺う。
- 答** 感染経路には様々な状況がある。公表時点で職場内感染や家庭内感染など明確になっているものは県から情報提供があるが、公表されていない情報は市へも情報提供されないのが不明である。
- 問** 市独自の「感染拡大警戒宣言」などの検討状況と、その発令基準について伺う。
- 答** 感染対策には県や近隣市町と連携した対応が重要であるので、県や近隣市町とも調整して進めていく。
- 問** 85歳以上へのワクチン接種における課題と対応策について伺う。
- 答** 課題は、予約時間前の来場者が多く受付前が混雑したこと、想定よりも接種に要する時間がかかったことである。混雑への対応策として、LINEやいわたホッとラインで予約時間通りの来場を呼びかけるとともに、待機場所を分散した。時間を要したことへの対応策として、接種ブースへの誘導員を配置し接種効率を上げた。
- 問** はがきや電子メールでワクチン接種の申込みができないか伺う。
- 答** 受理したものを改めて電算システムに入力しなければならぬことから、迅速に受付処理できないことから、現時点では考えていない。
- 問** コロナ対策に従事する職員の体制と過重労働への対応について伺う。
- 答** 3年度当初はワクチン対応班として6名体制でスタートしたが、接種計画見直しと課題解決のため過重労働となったことから、その後6月1日までに11名増員した。
- 問** 接種会場への移動困難者の対応策について伺う。
- 答** 自身での移動や家族等による送迎が困難な方の移動手段の一つとして、デマンド型乗合タクシーが活用されている。
- 問** 今後、新型コロナウイルスにより影響を受ける産業への支援について伺う。
- 答** 現在の各種経済対策を実施するとともに、企業訪問等を通じ、実施可能な支援があれば対応していきたい。



磐田市コロナワクチン接種センター

一般質問

要旨

一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。6月定例会では17人の議員が市長の所信表明及び市政全般について一般質問を行いました。発言した順番で主な内容をお知らせします。

一般質問は内容を要約して掲載しています。詳しくは、インターネットの録画映像でご覧いただけます。

磐田市議会 配信 検索

市長の所信表明は、右の二次元コードからご確認ください。



市長の所信表明について



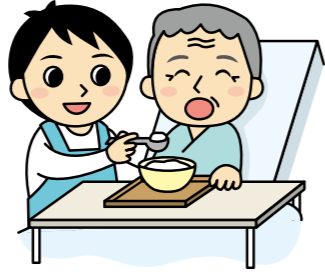
問答

市民と創る磐田 虫生時彦 議員



問 市長の障がい者や高齢者に寄せる思いを伺う。

答 障がいがあっても、病気になっても「安心できるいわた」をつくることを目指す。誰一人取り残さない優しいまちづくりを目指していきたいと考える。



問 ゼロカーボンシティの実現に向けての取組について伺う。

答 ゼロカーボンシティの表明は、本市の活気あふれる社会環境を守り育て、恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐことを目的としている。今後は国や県の動向を注視し、省エネルギー対策など今できることを継続して推進していきたいと考える。

問 地域活動支援センターの整備について伺う。

答 地域活動支援センターは、障がい者の居場所や自立支援の場であると認識している。現在本市には設置されていないが、開設に向けて検討していきたいと考える。

問 自主運行バス復活について見解を伺う。

答 デマンド型乗合タクシーの利便性の向上を基本に、現状を把握する中でデマンド型乗合タクシー以外の交通手段も検討していく。路線バス等の公共交通は多くの方が利用することで制度の理解が進むとともに運行が継続されるものと考えている。

問 新たな工業用地の現状と課題について伺う。

答 税収や雇用の場を確保するため、企業の誘致は重要であり、新たな工業用地の整備が必要と認識している。今後は、企業ニーズが高い高速道路インターチェンジ周辺に民間のノウハウを活用した工業用地の開発を進めていきたいと考える。

市長の所信表明について／市の諸課題について



問答

磐田の底力 柏木健 議員



地域公共交通の充実

問 コミュニティバス運行の考えは。

答 デマンド型乗合タクシーの利便性の向上を基本とするものの、現状を把握する中でデマンド型乗合タクシー以外の交通手段も検討していく。

問 交通弱者や市民の声をどのように反映していくか伺う。

答 公共交通の利用者や自治会、地域包括支援センターなどに対して行うアンケートやヒアリング調査で把握するとともに、パブリックコメントを実施する中で市民の声を計画や施策に反映していきたい。

旧市民文化会館等の跡地利用

問 旧市民文化会館等の跡地について民間に売却することなく有効活用すべきである。見解を伺う。

答 今のところ民間に売却する予定はなく、具体的なスケジュールも設けていない。引き続き磐田市民文化会館跡地活用懇話会や自治会と協議していきたい。

支所機能の見直し

問 見直しの経緯と拡大する分野を伺う。

答 市民の支所に対するイメージが合併後に変わってきているため、支所を文化や産業観光を振興して地域を活性化することや、気軽に相談できる場所として位置付けることができると考えている。今後は、支所に求める機能を検討するとともに、職員体制等も考えていく。



豊田支所

浜岡原子力発電所

問 浜岡原子力発電所の再稼働については、明確に反対の立場か伺う。

答 国の要請により停止していることから、再稼働については国の判断によるものと考えているが、現在の状況下では反対である。

市の諸課題

問 合併後の市内の格差について所見を伺う。

答 市内格差は総合計画に掲げる各事業に取り組むことでバランスが取れてきた。支所や重複施設の在り方も、公共施設等総合管理計画の基本方針に従い、公共施設の再編を行っている。

問 県経営管理部の資料では、市内の小中学校を一貫校にする約30年間で22校廃校とあるが、スケジュールと廃校の利用計画のビジョンを伺う。

答 県の資料は本市の考える学府一校とは違う。約30年で22校廃校にはならない。一校の整備は地域の実情、学府の特徴、施設の老朽化等を検討して進める。ながふじ学府一校は地域と23回、PTAと8回等計50回以上話し合いを行い、地域との連携によりでき上がった学校である。残りの学府も同様に進めたい。

問 (仮称)磐田市文化会館使用時の、国道1号バイパスの渋滞対策と公共交通機関の手当てを伺う。



(仮称)磐田市文化会館建設の様子(3年6月現在)

問 小型バスの活用等の対策について所見を伺う。

答 3年度は地域公共交通計画の策定に着手する。市民の声に耳を傾け、公共交通の具体的な検討を進める。小型バスの利用も、計画の中でデマンド型乗合タクシーの利便性の向上を基本としながらも、現状を把握する中で検討する。

市長の所信表明について
磐田市国民健康保険事業について



一 問
一 答



志政会 小池和広 議員

市長の所信表明

問 ^{※2}SDGs推進本部の設置と官・民・産・学・金の協力を求める取組は。

答 今年度、策定予定の第二次市総合計画後期基本計画にSDGsの視点を総合的に取り入れていく予定である。様々な分野の方々と、必要に応じて連携、協力をしていきたい。

問 デマンド型乗合タクシーの現状と交通弱者への取組は。

答 利用者は増加傾向にあり、高齢者や障がい者の生活に欠かせない交通手段として定着しつつあるが一方で利便性の向上を求める声も多い。今後、も運賃割引等を継続し、更なる利便性の向上や分かりやすい制度の説明に努めていく。

問 旧市民文化会館・文化振興センター跡地の利活用について伺う。

答 地元の皆さんの思いを大切に、引き続き懇話会や自治会と協議していきたい。

市長の所信表明

問 四つの大きな変化とその対応について伺う。

答 「人口減少・少子高齢化社会への対応」「デジタル社会への対応」「SDGsの考え方と自然環境への対応」「コロナ禍への対応」については、市民との対話を通じてしっかりと向き合い対応することで、安心できるまち、人が集まる市を目指していきたい。先進事例から学び、新しい産業や文化が生まれる土壌を作ることが必要だと考えている。



問 公共施設マネジメントについて伺う。

答 公共施設マネジメントは、未来へ見えない借金を残さないための重要な施策であり、公共施設等総合管理計画は將

期導入の取組は。

答 必要な場合はすぐに渡せるよう用意している。無償配布については、7月を目途に実施していきたい。

問 幼稚園、保育園、こども園のインターネット環境整備の取組は。

答 各園に回線を接続することを検討している。リモート会議等では、時間的制約なく利用できる環境を整えたい。可能であれば9月定例会に補正予算案を提出したい。



問 災害時のLGBTへの配慮を避難所運営マニュアルに盛り込む取組は。

答 災害時の配慮は必要なことと考えており、今後、避難所運営マニュアル等に記載の仕方を含め検討し、対応していきたい。

国民健康保険事業

問 国民健康保険税率の在り方の検討状況等について伺う。

答 県が示す税率に本市の税率及び賦課方式を段階的に近づける方向で協議をしている。今後は、協議会でまとめられた答申に基づき、国民健康保険条例の改正を検討していく。また、4年4月からの子どもに係る国保税均等割の減税措置実施に向け、条例の一部改正を予定している。

市長の所信表明について
市長交際費について
支所について
公共工事の財源としての基金と市債について
ITと行政



一 問
一 答



せいわ会 鈴木正人 議員

市長の所信表明

問 (仮称)自治基本条例の制定に向けての取組は。

答 市民が条例の必要性を認識することが大事である。少し時間をかけて3年度は若い世代を対象にした研修会や地域活動の情報交換会等を行う。

問 職員の育成は。

答 職員に期待する7つの項目は既に職員に伝えてある。市民に寄り添い挑戦する意欲を高められるよう育成に取り組んでいきたい。

今後の社会

問 労働者協同組合法の施行に向けた取組は。

答 法律の施行に向けて情報収集を行い、市民からの相談があれば、できる範囲の支援を行っていきたい。市民の選択肢が増えることは有効であり、最初に行う方と一緒に勉強をしていく方法が取れたら良いと思う。

教育

問 通学区編成の課題と通学区再編の検討並びに再編を行う場合の手続は。

答 通学区編成の課題はなく、現在の学校設置状況から通学区再編の予定はない。再編の手続については、地域から意見が上がってくることが多いが、教育委員会から提案することもある。



問 小学校の教科担任制導入に向けての進め方は。

答 教科担任制を実施し、学びの充実や教員の負担軽減を図っている。国や県の動向を注視し、各校の実情に応じた教科担任制を進めていきたい。

問 学校給食の持参米飯の変更予定は。

答 過去に実施したアンケートでは持参米飯の見直しを求める声もあつたため、地域の伝統を尊重しながら持参米飯の在り方を検討していく。

市長の所信表明

問 旧市民文化会館・文化振興センター跡地、旧豊田北部小学校、豊岡東小学校の跡地利用について検討を進めていくとのことだが、いつ頃を目標にしているのか伺う。

答 跡地利用検討の目標については、具体的なスケジュールは設けていないが、計画を示せるよう地元の思いを大切に、引き続き懇話会や自治会と協議していきたいと考えている。

問 新磐田スマートインターチェンジの開通後、新たな工業用地の検討を開始することにも現東名と新東名をつなぐ道路整備を対応とのことだが、具体的な計画を伺う。

答 新東名スマートインターチェンジの開通による利便性を最大限に生かし、民間のノウハウを活用した工業用地の開発を進めていきたいと考えている。現東名と新東名をつなぐ道路整備の計画については、県から県道横川磐田線の拡幅事業について袋井市側の狭小区間の本格的な事業化に



新磐田スマートIC

ITと行政

問 デジタル・ディバイドは市民の責任ではないと考える。あらゆる機会を利用して市民に対し、丁寧な説明と理解を求める責任が行政にあると考えるが、見解を伺う。

答 行政サービスのデジタル化を積極的に進めていくが、全てをデジタルに置き換えるのではなく、従来の手続でも可能となるような選択肢が広がるイメージを進めていく。情報機器の使い方が分からない方への支援など、デジタル化に対応できない方についての配慮や必要な対策は併せて行っていく。

防災減災対策について
幼稚園・保育園の再編について



一問
一答



志政会 岡 實 議員

防災減災対策

問 老朽化した17排水機場の遠隔監視・制御システム導入と運転管理者の労力軽減策は。

答 排水機場は、まずは計画的な改修が重要である。また、運転管理者の負担軽減のため緊急時には市職員が支援しており現時点では新システム導入の計画はない。浜松市では導入を進めているため、今後調査研究に努めたい。

問 防災行政ラジオの代替策とその方向性は。

答 新型コロナウイルス感染症の社会的影響を踏まえ、4年11月末の使用期限が延長され、当面の間、使用可能となるが、代替策は3年度中に方向性を示したい。

竜洋西・竜洋北保育園の再編

問 竜洋西・竜洋北保育園の統合・民営化の説明会、工事概要、開園までのスケジュールは。

答 これまで地元自治会や隣住民、周辺企業を対象に説明会を実施し、6月19日起工

とも連携を図っていききたい。

問 地域部活動推進への調査研究方法を伺う。

答 課題である指導者確保について、休日における部活動指導者調査を各中学校に今後依頼するとともに、市スポーツ協会の協力の下、人材バンク的なものを作成していききたい。

問 磐田スポーツ部活の今後の方向性を伺う。

答 6年目を迎える市独自の部活の在り方として継続していく必要があるが、その形式については協議会を立ち上げ、市で支えていけるように研究していくことが必要であると考えている。



(仮称)めいわ竜洋統合園イメージ図

式、4年3月の完成を予定している。施工場所は竜洋幼稚園の北側で、敷地面積は約4400平方メートル、延床面積は約2060平方メートル、建物は1階が鉄筋コンクリート、2階が鉄骨造りで、敷地の東側に園庭を、西側に駐車場を整備する予定である。

問 竜洋幼稚園との連携は。

答 園同士の交流や協力は双方に有意義であり、積極的に実施していく予定である。

問 竜洋西・竜洋北保育園跡地の、放課後の子供たちの居場所づくりへの活用を伺う。

答 現在、放課後子供教室や児童クラブの活動場所は充足しており、子供たちの居場所づくりについては、今後、跡地利用も含め、地域の意見も伺いながら検討を進めたい。

高木蛭池幹線の現状及び将来計画について
多様化・複雑化する未来を担う人づくりについて



一問
一答



せいわ会 本間 昭 男 議員

高木蛭池幹線

問 前野、長須賀、北島地区の拡張工事の完成時期は。

答 完成時期は8年度を目途にしているが、現状では厳しい状況で事業費の見直しを今後検討する。ある程度見込みが変わった時点で示していく。

問 (仮称)浜松小笠山間広域幹線道路の早期実現に向けた対策は。

答 事業化された区間の工事は計画的に整備を進め、今後3市で幹事会を通じてルート等の検討や現事業の進捗状況等の情報交換を行い、同盟会を継続していきたい。

未来を担う人づくり

問 子育て支援センターでの子育て世代への生活設計、将来設計支援としてライフプランニングの活用は。

答 子育て世代に一般的な講座として企画をできないか検討したい。

問 交流センターの生涯学習講座で、シニア世代へリタイアメントプラン支援としてラ

イフプランニングの活用は。

答 窓口業務を市民活動センター「のっぽ」が担う中で男女共同参画の相談対応をしている。キャリア形成の相談はワークピア磐田が実施する女性起業家育成講座等に対応しており、引き続き市民活動センターやワークピア磐田と連携し、進めていきたい。



問 男女共同参画センター「ともりあ」での、女性の社会参画、キャリア形成支援として、ライフプランニングの活用は。

地域とともにある学校づくり



一問
一答



志政会 鳥居 節 夫 議員

問 CSC・CSDの理想とする配置・運営体制を伺う。

答 理想の配置は、全小中学校にCSC、全学府にCSDを配置することだと考えている。

問 CSC・CSDの勤務体制の見直し、処遇改善への考えを伺う。

答 取組内容に見合う待遇補償を研究していきたいと考えている。具体的には会計年度職員の採用、または報酬額を上げること検討していく方向である。

問 中学校部活について、教員の働き方改革と学校部活動の考えを伺う。

答 働き方改革を進めていくと現在の学校部活動の運営体制を維持していくことは困難になると予想される。5年度以降、休日における部活動の段階的な地域移行が図られるよう研究を進めていく。

問 新たな部活動運営体制での各協会との連携を伺う。

答 これまでの連携を深めるとともに、市スポーツ協会に加盟している各競技団体や地域のスポーツ少年団、クラブ

安全・安心について
公共交通について



一問
一答



せいわ会 平田 直 巳 議員

安全・安心

問 防潮堤整備は日程短縮の改善の余地があると考えますが、市長が考える完成目標は。

答 1日でも早い完成を望む声があり、現在検討を進めている。できる限り早い時期に新たな完成目標を公表したい。

問 竜洋海洋公園工区の防潮堤は河口の水門を挟み計画されているが、水門の高さが不足しているが県との連携状況は。

答 県に水門の再整備を要望している。引き続き県と連携し水門周辺の整備を検討する。

問 天竜川河口域の堤防では津波による越水の可能性が示されているが、市の対策は。

答 国・県は東海地震等の発生によるレベル1の津波を想定して整備するとしている。南海トラフ巨大地震の発生によるレベル2の津波には対応していないため、引き続き国へ整備要望等していきたい。

問 消防団員確保は、市が関わっていくべきと考えますが、市の考えは。

答 定住人口増加を図る事業を実施し、消防団への理解と

団員確保を各自治会と連携することが重要だと考える。処遇改善として、消防団応援の店事業等を引き続き実施する。



消防団員募集ポスター

公共交通

問 市として公共交通の在り方を見直すべき時期にきていると考えるが、市長の考えは。

答 民間バス路線減便等を課題として認識しており、地域公共交通計画の策定の中で実情に合った持続可能な公共交通の確保を検討していきたい。

問 JRの各駅を中心として各地区を巡回する自主運行バスを走らせる考えは。

答 デマンド型乗合タクシーの利便性の向上を基本としながらも現状を把握する中で、他の交通手段も検討する。

磐田市の防災・減災について



一括質問

せいわ会 加藤 公人 議員



問 防潮堤完成までに必要な土量と確保の方法は。
答 2年度までに120万立方メートルの土砂を使用している。今後必要となる195万立方メートルの土砂は、民間事業者から搬出計画が示されており、必要土量は確保できていると考えている。



海岸防潮堤整備の様子

問 11年度完成を目指している防潮堤の早期完成のため、工事施工箇所、施工業者を増やすなどの計画は。
答 11年度の完成予定を1日でも早くできるように検討を進めており、できるだけ早い時期に新たな完成目標を公表したい。

問 海岸防災林工区豊浜区間の袋井市工区との接続時期と接続方法の検討・協議は。
答 県を含めて袋井市と計画のすり合わせを行っており、接続方法などの検討・協議を引き続き進めていきたい。

問 完成後の海岸防潮堤の維持管理、利活用は。
答 基本は保安林や公園などとして活用を図り、県と連携し適切に維持管理をしていく予定である。また、今まで以上に市民に関わっていただけるところを増やしていきたい。
問 津波シエルトターなどの設置の推奨や助成制度の整備は。
答 新製品の情報収集とともに、津波避難訓練を通じて必要な施策等を市民の皆さんと対話しながら考えていきたい。
問 倒壊の恐れのあるブロック塀等撤去・改善の助成制度の申請件数と周知啓発は。
答 平成13年度から2年度までの20年間で撤去事業は427件、改善事業は44件である。2年度からは、改善事業の対象に小中学校の通学路を追加した。広報いわた等での周知とともに、小中学校へも情報提供をしている。

文化財を活用したにぎわい創出／緑茶の地産地消



一括質問

志政会 八木 義弘 議員



問 旧見付学校など、歴史的建造物の活用と保存のバランスをどのように図るか伺う。
答 旧見付学校は独自の保存



旧見付学校

問 旧見付学校など、歴史的建造物の活用と保存のバランスをどのように図るか伺う。
答 旧見付学校は独自の保存

問 旧見付学校など、歴史的建造物の活用と保存のバランスをどのように図るか伺う。
答 旧見付学校は独自の保存

問 旧見付学校など、歴史的建造物の活用と保存のバランスをどのように図るか伺う。
答 旧見付学校は独自の保存

みんなを守る磐田の防災について／未来につなぐ磐田の環境について／人権と平和を尊重する磐田の男女共同参画について



一括質問

市民と創る磐田 鈴木 弥栄子 議員



問 河川のマイクロプラスチック等浮遊状況調査の考えは。
答 現時点において調査実施は考えていない。

未来につなぐ磐田の環境

問 地域防災計画に女性の視点を反映させるため、防災会議の女性の割合を高めることが必要だと考えるが見解は。
答 女性の視点を反映することは様々な角度から検討することにつながる中で、女性の割合を高めることを検討していきたい。



問 女性の意見を十分に政策に反映させる仕組みが必要と考えるが見解は。
答 女性の意見を市政に取り入れることは重要と認識している。女性に限らず様々な立場の意見が反映される仕組みを、今後前向きに考えていく。

磐田市の自然を守る／埋め立てごみの減量について／安心して子供を産み育てられるいわた



一括質問

市民と創る磐田 山下 千賀子 議員



問 可燃ごみ中、生ごみの占有率の推移と排出量の推移は。
答 占有率は2割から3割で、排出量はおおむね1万トン前後で推移している。

埋め立てごみの減量

問 元豊岡東小を小中学生の宿泊訓練の場としての整備は。
答 豊岡東小跡地については、具体的な計画立案には至っていないが、自然豊かなところなので、引き続き、地元と協議をしていきたい。

問 不妊治療費助成を受けた方の数の推移と心身のケアは。
答 不妊治療費補助金の交付件数は平成30年度305件、元年度318件、2年度240件である。補助金申請等の際に相談があれば保健師が話を伺い心理的ケアをしている。より専門的な相談が必要な場合には静岡県不妊・不育専門相談センターを紹介している。

問 障がいを持つ乳幼児数の推移と支援体制は。
答 身体障害者手帳は平成30年度25人、元年度26人、2年度24人、療育手帳は平成30年度と元年度67人、2年度62人、精神障害者保健福祉手帳は平成30年度と元年度は無く、2年度は1人である。手帳所持者は施設通所等の福祉サービ

問 安心して子供を産み育てられるいわた
問 安心して子供を産み育てられるいわた



問
答



日本共産党磐田市議団 高梨俊弘 議員

市の諸課題について／子育て支援策の充実を／教育の諸課題

市の諸課題

問 地域公共交通会議で掛塚さなる台線とつか系統と千手堂系統の退出が協議された。代替案の検討について伺う。

答 デマンド型乗合タクシーの利便性の向上を基本とするものの、現状を把握する中でデマンド型乗合タクシー以外の交通手段も検討していく。次回12月の地域公共交通会議で示せるよう準備を進める。

子育て支援策の充実

問 幼稚園型認定こども園の利用者から土曜日の開所を求め声があるが見解を伺う。

答 幼稚園型認定こども園では現時点で土曜保育を実施していないが、保護者のニーズを把握する中で、第三期計画に位置づけ検討していきたい。

問 学校や現状の相談活動での「ヤングケアラー」の把握状況を伺う。また、実態調査の考えはあるのか伺う。

答 相談活動で案件は把握しており、該当する子どもは学校や関係機関で情報共有を図

りながら支援している。実態調査は、今後の県や近隣市町の動向を注視し検討していく。

問 子育て世代は今でも児童館の建設を望んでおり整備すべきと考える。見解を伺う。

答 小学生以上の子どもが安心して過ごせる場で幼児の親子も利用できるような施設の設置を、先進事例も参考にしながら検討していきたい。

教育の諸課題

問 給食費無償化の新たな検討について伺う。

答 無償化の在り方について、他自治体の情報収集を行うなど研究を行ってきた。

問 コロナ禍のなか給食費無償化を実施する考えを伺う。

答 現時点では無償化の実施は検討していないが、総合的に支援の方向を検討していく。



一般質問 用語解説



※1 ゼロカーボンシティ (P7)

2050年にCO2(二酸化炭素)を実質ゼロにすることを旨とする旨を公表した地方自治体のことです。

※2 SDGs (P8・P9)

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール、169のターゲットで構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

※3 デジタル・デバイス (P9)

インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる人と利用できない人との間に生じる格差のことです。

※4 CSC (コミュニティ・スクールコーディネーター) (P10)

学校及び地域の教育課題解決に必要な総合的な連絡調整及び教育活動への支援、企画、参加促進に関する業務を担う地域人材のことです。

※5 CSD (コミュニティ・スクールディレクター) (P10)

CSCと同様の業務に加え、学府及び市全体のコミュニティ・スクール事業を統括する地域人材のことです。

※磐田市では、CSC・CSDを磐田市地域学校協働活動推進員として位置付けています。

※6 リタイアメントプラン (P11)

従来のライフプランにとらわれず、定年退職後の長期的な視点で生活計画を立てたり、将来に向けて準備するお金の計画を立てたりすることです。

※7 ヤングケアラー (P14)

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことです。



Topics

6/3-4 1期議員を対象とした市内施設等の視察を行いました

議員としての見識の向上のため、1期議員を対象とした市内施設等の視察を行いました。ながふじ学府小中一体校、新磐田スマートインターチェンジ、御厨駅など、現地で市職員等から説明を受けた後、1期議員から各々の視点で積極的に質疑が出され、市職員とのやり取りがなされました。



7/12 議員研修会を開催しました

国民健康保険事業について理解するため、議員研修会を開催しました。本市国保年金課長の説明により、国民健康保険事業の概要や財政の状況、これからの国民健康保険事業の見通しについて理解を深めました。



一
括
質
問



志政会 小柳貴臣 議員

市民が集うまちづくりについて／中心市街地の活性化について／「磐田市を世界に発信」について／地域の諸課題

市民が集うまちづくり

問 安久路川周辺から西貝地区ひょうたん池周辺を市民の憩いの場所として整備することについて考えを伺う。

答 現在、憩いの場所を特定して整備する計画はないが、河川管理者である県が国土強靱化対策として安久路川の堤防天端の舗装を進めているため、遊歩道として有効に活用することを考えている。

中心市街地の活性化

問 活性化のための専門職員や民間出身者の活用について伺う。

答 外部の専門家から意見を取り入れることも一つの手法と認識している。国や県の制度の活用も含めて検討していきたいと考える。中心市街地の活性化は行政だけでなく、ものではないため、地域と一緒に盛上げていくことが何よりも重要だと考えている。

地域の諸課題

問 住宅密集地の緊急車両進入通路確保について現状と対策を伺う。

答 あらかじめ進入困難な道路を把握し、緊急時の対応に支障が出ないよう努め、幅員が4メートル未満の道路の場合には建築基準法による後退が義務付けられているため、建て替え時に後退部分の塀等を撤去するよう指導している。今後も建物を建てる際のルールについて周知・啓発を行い、緊急車両の通行が改善できるよう努めていく。



高規格救急自動車

問 防犯灯維持管理の補助について、地域の現状を踏まえたの考えを伺う。

答 交換の負担に不安を抱えている自治会があることは認識している。各自治会の現状把握に努めていきたいと考えている。

審議結果

■全会一致により可決・同意された議案

- (1) 3年度一般会計補正予算（第3号）
- (2) // 豊田中学校既存校舎等解体工事請負契約締結
- (3) // ながふじ学府小中一体校グラウンド整備工事
(土木) 請負契約締結
- (4) // 一般会計補正予算（第4号）
- (5) 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
- (6) 手数料条例の一部改正
- (7) 税条例等の一部改正
- (8) 国民健康保険条例の一部改正
- (9) 介護保険条例等の一部改正
- (10) 市営住宅条例の一部改正
- (11)(12) 財産の取得

- (13) 3年度一般会計補正予算（第5号）
- (14) 副市長選任の同意
- (15) 固定資産評価員選任の同意
- (16) 市議会会議規則の一部改正
- (17) 人権擁護委員の候補者推薦の同意

■本会議で行われた選挙

- (1) 静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

■その他本会議で議題となった案件

- (1) 閉会中の継続調査
- (2) 市議会議員の派遣

9月定例会の予定

(9月9日～10月13日)

日	月	火	水	木	金	土
9/5	6	7	8	9 本会議 (先議ほか)	10 本会議 (議案上程)	11
12	13	14	15	16 本会議 (先議採決 一般質問)	17	18
19	20	21 本会議 (一般質問)	22	23	24 本会議 (議案質疑)	25
26	27 本会議 (議案質疑)	28 予算決算委員会分科会(審議) 常任委員会(審議)	29	30	10/1	2
3	4	5	6 予算決算委員会 (採決)	7	8	9
10	11	12	13 本会議 (採決)	14	15	16

※いずれも午前10時から

日程は変更する場合があります。一般質問を行う議員の順番や内容につきまして9月16日(木)にホームページ上で公開を予定しております。また、聴覚障がい者の皆さまの議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆記者の派遣等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局(電話0538-37-4822、ファックス0538-37-4845)までお問い合わせください。

表紙の写真

静岡県立磐田南高等学校 2年

まきのちえり
ビジュアル部 牧野千瑛里さん

新型コロナウイルスの収束、平穏な日々の再開など、皆それぞれ願いを持って生活を送っていると思います。

そのような皆の願いが叶えられるようにという思いを込めて、「アラジンと魔法のランプ」を模してこの写真を撮りました。見た人に少しでも希望を届けられれば幸いです。



コロナワクチンの一般接種が7月以降本

格化されてきています。今回、大学生への取材も感染症対策としてオンラインで実施しました。取材では、市内・市外出身の学生からみた磐田への貴重な意見を伺いましたので、今後の政策への参考とさせていただきます。若者にとっても身近に感じられる市議会を目指してまいります。

(鳥居節夫)

【広報広聴委員会】

- 委員長：虫生 時彦
- 副委員長：鳥居 節夫
- 委員：八木 義弘、小栗 宏之、江塚 学、芥川 栄人、根津 康広

次回は **12月1日** 発行予定です。